

経営理念：利用者の『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

## るんびに1歳児クラスだよ

認定こども園かさぎ

2023年5月30日（火）

文責 和田 麻衣子



### 今日は何があるかな？～さんぼの楽しみ～

さわやかなそよ風が心地よい時期になりました。新年度が始まり、2ヶ月が経とうとしています。朝の会の前に「集まれ集まれ～1, 2, 3」と言うときと畳の所に行き座り、朝の会が始まるのを待っている子どもたちです。朝の会で季節の歌を歌ったり、触れ合い遊びをしたりしています。一人ずつ名前を呼び、自分の名前が呼ばれると「はい」と言って手を挙げたり笑顔を見せたりしてくれます。

散歩に出かけることを子どもたちに伝えると自分の靴箱から靴を持ってきて履こうとする姿が見られるようになってきて、自分のことは自分でやりたいと思う気持ちが出てきているので子どもの気持ちを大切にしながら関わっていきたいと思います。散歩に行き、ちょうちょを見つけるとちょうちょを指差したり、追いかけてりする姿も見られ、草花を見つけると手に取り、友だちに「はい、どうぞ」と言いながらあげているかわいい姿が見られます。散歩中つむぎちゃんやゆらちゃんは楽しそうに歌を歌ったり、さいちゃんは、草花を見つけて手に取ったり、いつくんやゆうとくんは石でフェンスを叩きどんな音が鳴るかを不思議そうにしながら遊んでいます。ダンゴムシやカタツムリを見つけるとじっと見たり「怖～い」と言いながら虫を見る姿もありました。子どもたちと一緒に身近な自然に触れながら散歩を楽しんでいきたいと思っています。友だちとの関わりも増えてきている中で、友だちが持っているおもちゃが欲しくなり、自分の気持ちを言葉で伝えるのがまだ難しいこともあります。私が「貸して～」「ちょうだい」と言うと少しずつ言葉を真似しながら友だちに自分の思いを伝えようとしている子どもたちです。子ども達の思いをしっかりと受け止めながら、代弁したりと少しずつ言葉にしていけるようにできたらと思います。

**※保育参観・家庭訪問お忙しい中お時間をとっていただきありがとうございました。何か気になることがありましたらいつでもお知らせ下さい。**



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 黒木 美紀

解決責任者 園長 假屋 由美子

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-6172) 横峯 友里子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)



